

【たたき台】

京都市はぐくみ働き方改革推進宣言

子どもの楽園 (a very paradises of babies) ——今から約 150 年前、明治維新の前後に我が国を訪れた多くの外国人が日本をこう表現した。かつて日本のまちには子どもたちがあふれ、夢中で遊び込むその子どもたちを尊重する社会があった。子どもを地域や社会の宝としていつくしみ、育む「はぐくみ文化」の伝統は、地蔵盆に象徴されるように京都のまちに今も息づいている。平成 19 年 2 月に「子どもを共に育む京都市民憲章（京都市はぐくみ憲章）」を制定し、その理念の実現に向けて市民みんなで取り組んでいるところである。

その一方で、第二次ベビーブーム後の少子化の流れは若者人口の減少を招き、今後更に少子化を加速させるとの推計が示されており、地域全体で子どもをはぐくむ意識の希薄化も危ぶまれている。このまま現状を放置すれば、京都のまちも我が国も、その存立自体が脅かされる事態に立ち至るのではないか。

このような強い危機感を持って、われわれは社会の在り方を抜本的に変革し、もう一度子どもを真ん中とする原点に立ち返ることを決意した。子どもを生み育てるという尊い営みに子育て世代が力を振り向けられることが、持続可能な社会と経済の礎であることを自覚し、子どもの最善の利益を真に優先する社会の実現に、「自分ごと」「みんなごと」として取り組むため、次のことを宣言する。

- 1 次代を担う子どもたちを温かい家庭で健やかに、心豊かにはぐくむため、子育て世帯はもちろん、子育てを支援する関係者を含めた長時間労働の是正や育児のための休暇・短時間勤務制度等の積極的活用といった働き方改革の推進等を含め、はぐくみ文化を核として、地域全体で子どもをはぐくむ環境の醸成に努めます。
- 2 質と量の両面で高い水準を実現している京都の教育・保育水準の更なる向上に向けて、子どもが育ち学ぶ施設だけでなく、保護者はもちろん、地域や企業等そこにかかわる全ての大人が協力します。
- 3 全国レベルで改善が必要な法的・予算的事項については、連携して国に働き掛けます。
- 4 以上の趣旨を実現するため、本宣言の趣旨に賛同する団体を募るとともに、家庭だけでなく社会のあらゆる場において「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念の浸透及び実践に努めます。

令和元年●月●日

京都市はぐくみ推進審議会

賛同団体一覧
(令和●年●月 1 日時点)

合計●●●団体

5 0 音	団体名	分類
あ		
い		
う		
わ		

賛同団体における取組事例
(令和●年●月 1 日時点)

合計●●●項目

項目		団体名
項目 1 関連		
項目 2 関連		
項目 3 関連		
項目 4 関連		